

## JICA と佐賀県教育委員会・（公財）佐賀県国際交流協会、 セントルシアで視覚障害者の自立支援の共同事業 覚書を締結し、今後 5 年間で計 4 名を派遣

2025年5月27日（火）、独立行政法人国際協力機構九州センター（JICA九州）と佐賀県教育委員会・（公財）佐賀県国際交流協会は、セントルシアでの視覚障害者の自立支援を共同で進めるため、JICA海外協力隊の連携派遣に係る覚書を締結しますので、この機会に取材・報道をご検討ください。

- ・署名式には、甲斐 直美・佐賀県教育委員会 教育長と黒岩 春地・佐賀県国際交流協会 理事長、後藤 光・JICA九州所長、大塚 卓哉・JICA青年海外協力隊事務局長が出席します。
- ・佐賀県立盲学校の教員等4名（長期派遣2名、短期派遣2名）がJICA海外協力隊員として、2027年8月～2031年8月頃にわたりセントルシアに派遣されます。現地ではセントルシア視覚障害者協会に所属し、セントルシアにおける視覚障害者の自立支援のために視覚障害のある人々に指圧の技術を教え、講師の育成を行います。
- ・派遣される教員等は、佐賀県立盲学校の児童生徒への活動経験の還元はさることながら、活動経験を糧に外国人と日本社会の架け橋となり、多文化共生に取り組む佐賀県等に貢献することが期待されます。

### 【取材可能日時と場所】

- ・日時：2025年5月27日（火）13時00分～
- ・場所：佐賀県庁旧館2階 教育委員会室（覚書の署名式を取材頂けます）  
（佐賀県佐賀市城内1丁目1-59）

### ■問い合わせ先

取材いただける場合は、JICA九州の渡久地（とぐち）まで事前にご連絡ください。

#### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州 市民参加協力課 渡久地 舞

TEL：093-671-8341 E-mail：Toguchi.Mai@jica.go.jp

## 【参考】

## ■セントルシア視覚障害者協会へのJICA海外協力隊派遣実績について

セントルシアでは、人口約18万人のうち視覚障害のある方が約2000人いると言われており、その多くが社会参加できていない状況です。これまでJICAは、同国の視覚障害者協会へJICA海外協力隊員を7名派遣しています。

初代隊員として派遣された黒岩春地氏（現、佐賀県国際交流協会 理事長）が、セントルシア及びカリブ諸国へSHIATSU技術を普及することを通じて視覚障害者の自立支援を行う「カリブの夢－ SHIATSUプロジェクト」を構想したことがきっかけとなり、本連携派遣が実現するに至りました。

## ■JICA 海外協力隊について

JICA 海外協力隊は日本政府の ODA 予算により、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。開発途上国からの要請（ニーズ）に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣します。

その主な目的は、以下の 3 つです。

- （1）開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与
- （2）異文化社会における相互理解の深化と共生
- （3）ボランティア経験の社会還元

## ■JICA 海外協力隊は 2025 年に 60 周年を迎えました

JICA 青年海外協力隊事務局では 2025 年を 60 周年記念イヤーと位置づけ、「世界と日本を変える力」をテーマに 1 年かけて周年事業を実施いたします。

※JICA 海外協力隊 60 周年に関連した情報については、以下のとおり 60 周年特設サイトを開設し、随時掲載していきます。

- ・ 特設サイト：<https://www.jica.go.jp/volunteer/60th/>
- ・ 60 周年記念ロゴ



## ■独立行政法人国際協力機構（JICA）について

JICA は、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150 以上の国と地域で事業を展開しています。

国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。

詳しくは <https://www.jica.go.jp/index.html> をご覧ください。